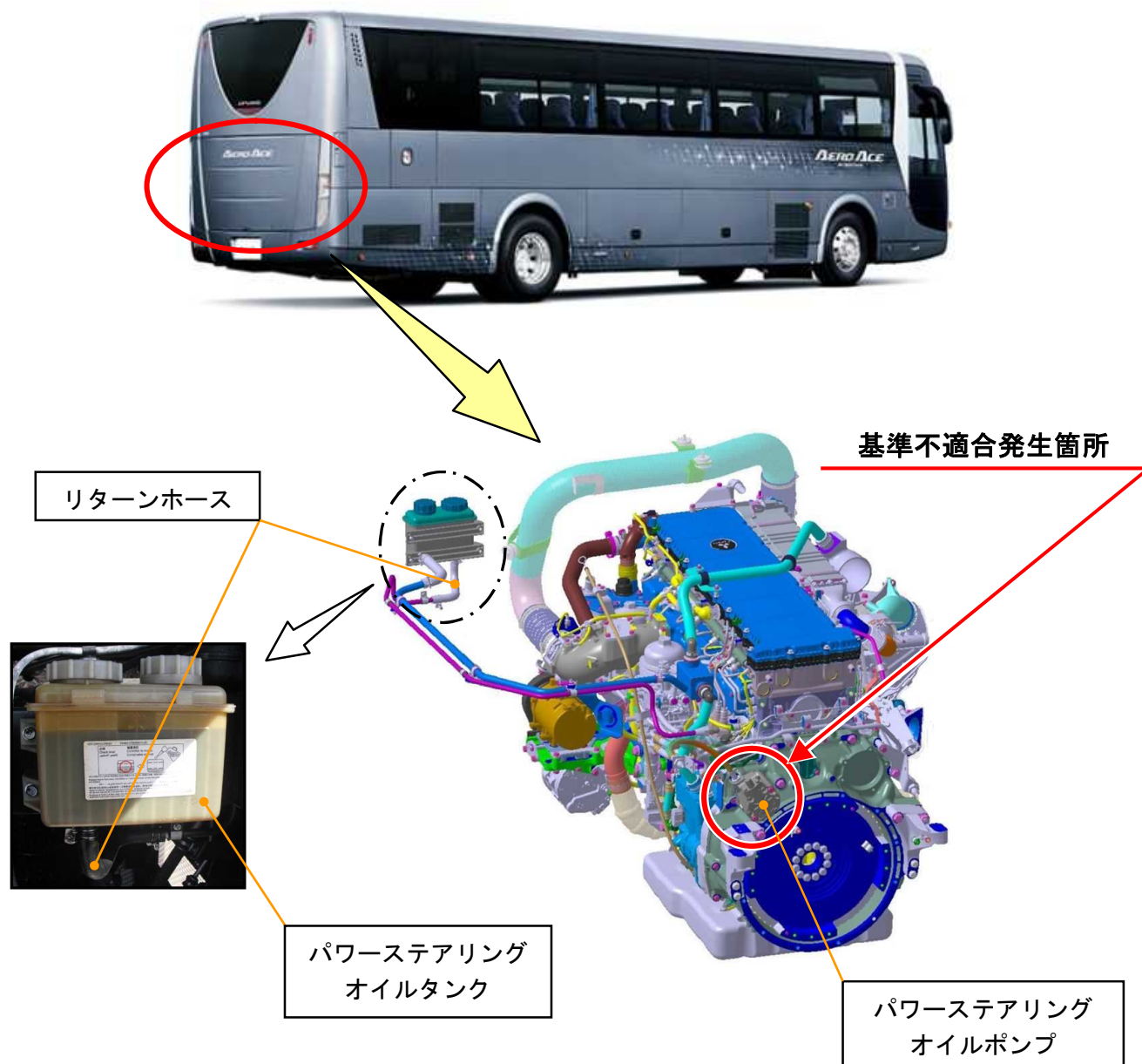


改善箇所説明図



大型観光バスにおいて、パワーステアリングオイルポンプの吐出量のバラツキにより、オイルの温度がリターンホースの耐熱温度を超えるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、リターンホースがパワーステアリングオイルタンクから外れてオイルが漏れ、操舵力が増大するおそれがある。

改善措置の内容

走行距離が 10 万 km 以上の車両は、パワーステアリングオイルタンクの色を点検し、パワーステアリングオイルポンプに問題があると判断された場合は、パワーステアリングオイルポンプ、タンク、ホース一式を対策品に交換する。

また、登録後 1 年以内または走行距離が 10 万 km 未満の車両は、パワーステアリングオイルタンクの色変化が少なくパワーステアリングオイルポンプの良否判断が困難であるため、パワーステアリングオイルタンクの色点検を行わずにパワーステアリングオイルポンプ、タンク、ホース一式を対策品に交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB163」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。